2-5. 教育学科 国際教育専攻 国際教育コース カリキュラム

(1) 総合教育科目

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
	文章表現 人権教育▼ 健康・スポーツ* レクリエーションワーク レクリエーション理論	2 2 2	文章表現Ⅱ&	4	文章表現Ⅲ&	4			
	情報処理演習 I * アメリカの文化と言語 I * アメリカの文化と言語 II 中国の文化と言語 II 韓国の文化と言語 II 韓国の文化と言語 II 韓国の文化と言語 II 韓国の文化と言語 II * 第日本の文化と言語 II & * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	42 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	情報処理演習Ⅱ	4	情報処理演習Ⅲ	4			18科目 38単位 必修 *「日本の文化 語I」「日本の と言語II」は、 人留学生のみ履
総合教育科目	心理学入門 社会福祉入門 政治学 (国際政治を含む) 哲学 倫理学 日本史 世界史 生物学 総計学		法学Ⅱ (民法、行政法) 経済学 (国際経済を含む)	4 2	国際関係論(国際法を含む)	2			
	表現 音楽▽ ボランティア論 ジェンダー論 死生学 少年と犯罪 ヒューマンライフとサービス 経営学入門 会計学入門 生活の中の福祉 教養基礎演習Ⅰ		児童文化論	2					
	教養基礎演習Ⅱ 教員基礎演習Ⅰ*	2 2	教養基礎演習Ⅲ 教員基礎演習Ⅱ*	4	キャリア開発演習 I (教養) 教員開発演習 I *	4	キャリア開発演習Ⅱ(教養) 教員開発演習Ⅱ*	4	各2-4年次は、 を で で で で で を で を を で で を で で を で で り が き り で で り り で り り り り り り り り り り り り り

注1) 情報処理演習Ⅲは、情報処理演習Ⅱ履修者のみ受講可能。文章表現Ⅲは、文章表現Ⅱを履修した後に履修すること。

注2) ゴシック体で記載された科目は、必修科目。

注3) * (教職課程共通 *必修 * 選択)、▽ (小学校教諭 ▽必修 ▼選択)、□ (英語科教諭 (中学・高校共通)) の印が付された科目は、資格・免許状取得に 関する科目。詳細については、「VII. 資格取得の方法」を参照すること。

注4) 英語コースの学生が教員免許状取得を希望する場合、教職課程科目(注3に該当の資格・免許状取得に関する科目)は、日本語の授業を履修すること。

注5) & 外国人留学生は履修することが望ましい

(2) 専門教育科目

	区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
		教師論▽	2	教育方法論(ICT 活用含む)▽	2	教育相談(カウンセリングを含む) ▽	2			
	+×1.	教育課程論▽	2	教育法規▽	2	道徳の指導法▽	2			8科目
	教育	教育学概論▽	2	教育心理学▽	2					16単位
	(初 等)			児童生徒指導論(進路指導を含む) ▽	2					必修 (注3)
	等			特別活動の指導法▽	2					1 224-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
				特別ニーズ教育論▽	2					小学校教諭 教育(初等)から
				総合的な学習の時間の指導法 ▽	2					12科目24単位修得
		教師論□	2	教育方法論(ICT 活用含む) 🗆	2	教育相談(カウンセリングを含む) 🗆	2			
	±z/-	教育課程論口	2	教育法規□	2	道徳の指導法** 注1)	2			高校教諭 教育 (中等) から
	教育	教育学概論口	2	教育心理学□	2					11科目20単位修得
	(中等)			児童生徒指導論(進路指導を含む) 🗆	2					中学校教諭
	等			特別活動の指導法□	2					教育(中等)から
				特別ニーズ教育論□	2					12科目24単位修得
				総合的な学習の時間の指導法 🗆	2					
	教育(国際)	日本文化研究	2	国際社会理解入門	2	国際保健学入門	2	国際社会理解研究 I	2	
		言語学概論	2	海外留学入門	2	異文化理解口	2	国際社会理解研究Ⅱ	2	
				人間環境学入門	2	異文化コミュニケーション教育演習	2			13科目26単位
				日本語教育の理論と方法	2					必修
惠				社会言語学	2					
専門教育科目				異文化コミュニケーション教育	2					
育				東アジアの中の日本文化	2	比較文化学演習	2			
目目				比較日本文化論	2	対照言語学	2			
				第二言語習得理論	2	第二言語習得理論演習	2			
				日本語教授法 I	2	日本語教育演習	2			
				日本語学習とマルチメディア	2	日本語教授法Ⅱ	2			
		図画工作Ⅰ▽	2	社会▽	2					
		国語(書写を含む) ▽	2	理科▽	2					
		算数▽	2	生活▽	2					
		体育▽	2	家庭▽	2					
	教	音楽Ⅱ▽	2	外国語▽	2	社会科指導法▽	2			
	教育分野	図画工作Ⅱ▽	2	国語科指導法(書写を含む)▽	2	理科指導法▽	2			小学校教諭
				算数科指導法▽	2	生活科指導法▽	2			21科目
	<u>①</u>			音楽科指導法▽	2	家庭科指導法▽	2			42単位
	(小学校)			図画工作科指導法▽	2					修得
	$\overline{}$			体育科指導法▽	2					
				外国語の指導法▽	2					
				外国語活動の指導法▼	2					

注1) 道徳の指導法は、中学校教諭免許状を取得する場合は、必修のこと。

注2) 卒業に必要な単位として、30単位分を専門教育科目の必修科目以外の科目から履修すること。

注3) 初等分野・中等分野のいずれかより同一科目を含まない8科目16単位を履修すること。

	区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	单位	4年次	単位	備考
		英語基礎演習 I (文法・読解) □▼	2	英語基礎演習Ⅲ (文法・作文) □	2	英米文学演習□	2	2		
		英語基礎演習Ⅱ (文法・読解) □▼	2	英語講読IV□	2	英米児童文学演習□	2	2		
		英語講読I□	2	英語講読V□▼	2	英語コミュニケーションV 🗆	2	2		英語科教諭
		英語講読Ⅱ□▼	2	英語講読VI□	2	英語コミュニケーションVI 🛘	2	2		20科目
	教	英語講読Ⅲ□	2	英語コミュニケーションⅢ □	2	英語科指導法Ⅱ□	4	1		44単位
	教育分野	英語コミュニケーション I □▼	2	英語コミュニケーション IV□	2	英語学演習 I (統語論) 🗆	2	2		必修
		英語コミュニケーションⅡ□▼	2	英語科指導法Ⅰ□	4					
	(英語)			英語学Ⅱ (英語の発音と音声) ▼		 		2		
				英米文学と映像		英語学 I (英語の歴史)	2	-		
士				英米児童文学(作品論)▼		英語学Ⅲ(英語の談話)	2			
門				央不冗里又子(旧四冊)▼	2	英文学 (作家・作品論)	2			
教育						米文学 (作家・作品論)	2	-		
専門教育科目		社会情報学	2	コンピュータネットワーク [2	データベース演習 [2			
-				コンピュータネットワークⅡ		データベース演習Ⅱ	2	-		
	専			マルチメディア表現Ⅰ		システム設計	2			
	曹	情報と職業	2	1/2/// 1/ 30001	_	システム設計演習	2			
	開	THE CARK				情報セキュリティ	2			
	専門展開教育分野					旧代にイエファイ		-		選択科目
) 労									√521/ (I I H
	情報			マルチメディア表現Ⅱ	2	ヒューマンメディア	2	2		
	教			メディア社会論	2	マルチメディアと学習環境	2	2		
				情報倫理	2					

注1) 小学校教諭課程履修者は、教育分野(英語)の中から▼印の付された8科目16単位を履修することが望ましい。

注2) 英語科教諭は、免許課程の必修科目以外に、英語科教育分野に開講されている選択科目を履修することが望ましい。詳細については、「VII. 資格取得の方法 4. 教育職員免許状の取得について」を参照すること。

	区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
	専門展開教育分野(養護・保健)			衛生学 学校保健学 (学校安全を含む) 養護教育学 精神保健学 病原微生物学 解剖生理学 I 解剖生理学 I 医学概論 (小児保健を含む) 免疫学概論 薬理学概説 (薬物乱用防止を含む) 精神疾患とその治療	2 2 2 2 2 2	公衆衛生 栄養学(食品学含む) 健康相談活動の理論と方法 看護学(教急処置を含む) 地域看護学 児童環境保健論 子どもの食と栄養	2 2 2 4 2 2 2 2			選択科目
専門教育科目	専門展開教育分野(心理・発達)	心理統計法	2	発達心理学 社会心理学 心理学基礎実験	2	臨床心理学 カウンセリング演習 家族心理学 心理学研究法 心理検査法 心理療法概説 認知心理学 障害児・者の心理 発達相談**	2 4 2 4 4 2 2 2 2			選択科目
	演習・実習					教育実習指導(初等)▽ 教育実習指導(中等)□ 国際理解実習指導 国際理解実習	1	専門演習 教育実習(初等) I ▽ 教育実習(初等) II ▽ 教職実践演習(小学校) ▽ 教育実習(中等) I □ 教育実習(中等) II □ 教職実践演習(中・高) □	2 2 2 2 2 2 2	1科目 2単位 必修

注1) 実習科目については、各教育職員免許状に指定された教育実習科目を履修すること。詳細については、「VII. 資格取得の方法 4. 教育職員免許状の取得について」を参照すること。

2-6. 資格取得に必要な単位

《教育学科 国際教育専攻 国際教育コース》(卒業要件単位:124単位)

	総合教育		専門教	育科目				
教育学科	科目	教育 初等・中等	国際	教育分野	演習・実習	小計	専門教育科目	合計
卒業要件	必修 52	必修 16	必修 26	_	必修 2	必修 96	選択 28	124
小学校教諭	54	24	26	42	9	155	(16)	155 (171)
英語科教諭(中高)	52	24	26	44	9	155	(16)	155 (171)

^() 内の数字は、各免許状・資格を取得する場合に、履修することが望ましいとされている選択科目の単位数。

注2) 教職実践演習には「中・高」「小学校」があるので、希望する免許状の教職実践演習を履修すること。

注3) 海外留学を希望する場合は、国際理解実習指導を3年次春期に履修し、国際理解実習は3年次秋期に履修すること。

注4) 国際理解実習は、半年の協定校への海外留学につき 16 単位までの単位認定とする。

注5) 心理統計法は、統計学を先に履修したうえで履修すること。

注6) 「教育実習 (中等) 」について、中学校教諭―種免許状を取得する場合は「教育実習 (中等) Ⅰ」と「教育実習 (中等) Ⅱ」の両方を履修すること。高等学校教諭―種免許状のみを取得する場合は「教育実習 (中等) Ⅰ」のみを履修すること。